

太田フレックス高等学校

～日本語指導が必要な生徒を支援する体制づくりの試み～

《日本語指導を支える体制づくり ～成果発表の場～》

本校は毎年 12 月に、日頃の学習や探究の成果を披露する「フレックス発表会」があります。

このような成果発表の場は、日本語指導を受ける外国にルーツをもつ生徒たちにとっても、非常に重要です。それぞれが学校行事の主役の一人となることで、学校生活や学習に対する大きな自信につながったり、次への意欲を引き出す一歩となったりします。

本校で日本語指導を受ける生徒たちも、「フレックス発表会」では日頃の学習成果を発表しました。

◎特別の教育課程による個別指導:「日本語基礎」の発表

自身の母国に関することや、好きなこと、関心のあるテーマについて日本語で表現しました。



◎学校設定科目:「日本語Ⅰ」の発表

発表会に来たお客様に向けて、学校を紹介するウェルカムボードを制作しました。日本語と自分の母語の両方を使った表記に挑戦した生徒もいました。



◎学校設定科目:「日本語Ⅱ」の発表

自身の国や文化を紹介するクイズを作成し、チラシにして来場者に配布しました。クイズの解答は解説を含めてレポートにまとめました。

